

1台で塩素あり・塩素なし試験に対応

GT-100

ガスの種類 SO ₂ H ₂ S NO ₂ Cl ₂ よりご指定	温度条件 20~65±1℃
湿度条件 65~95±3%rh (槽内温度20℃時) 30~95±3%rh (槽内温度65℃時)	試験片枚数 20枚 (寸法150×70×1mm)



試験槽入替方式 (Chamber Exchanging System®)

Cl₂ 試験あり・なしで試験槽を交換可能 (PAT.)

試験槽及び残留塩素の影響が考えられる配管を全て着脱可能です。残留塩素の影響による懸念を払拭しました。

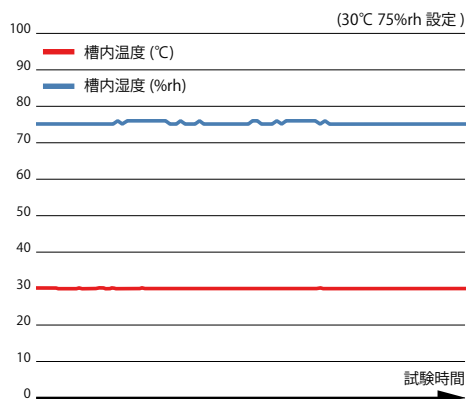


●試験槽固定方式のGT-100B型もあります。

代表的なガス腐食試験規格の IEC 60068-2-60 では、「塩素ガスは硫化水素と組み合わせられた時に強い相乗効果を示す。槽や配管などから塩素化合物を取り除くことが非常に難しいため、塩素を含有する試験に一度用いられた槽及び配管は塩素の存在を規定していない試験には用いることを推奨しない」とあります。

槽内結露防止機構 (Dew Free System®) で ガス濃度及び温湿度の安定性を向上 (PAT.)

二重槽構造に加え、予め調温調湿された空気を試験槽に取り入れる方式を採用し、ガス濃度に影響を与える結露を防止すると同時に、安定した温湿度制御が可能となりました。



この他、ガス腐食試験にはデジタルカラープリント画像保存性試験方法 (JEITA CP3901A) 対応のガス腐食試験機 GS-P 型、DIN 50018・ISO 6988 のケステルニツヒ試験対応のガス腐食試験機 GS-DIN 型もあります。

●本カタログに記載の性能は150×70×1mmの試験片を試料中に全て取付けた時の数値で表しています。適切な試験片枚数や配置でなければ均一な試験結果が得られません。
 また、試験機の設置場所の条件は、JIS Z 8703(試験場所の標準状態)の温度23±5℃、湿度65±10%rhです。
 ●「Chamber Exchanging System®」「Dew Free System®」はスガ試験機(株)の登録商標です。

大型の試料に対応した特殊製作

GS-UVZ





大型の試験槽(寸法 約幅 100×奥行 100×高さ 120cm)で、二酸化硫黄(SO₂)・硫化水素(H₂S)・二酸化窒素(NO₂)・塩素(Cl₂)の4種ガス試験が可能なガス腐食試験機です。試験槽床耐荷重 150kgf 仕様で、電気自動車用のインバータやモータなど大型で重量のある試料の試験ができます。上蓋が 84° まで開くため、クレーンなどを使用して試料を出し入れできます。

GS-UVZ



大型の試験槽(寸法 約幅 120×奥行 120×高さ 80cm)で、二酸化硫黄(SO₂)・硫化水素(H₂S)・二酸化窒素(NO₂)・塩素(Cl₂)の4種ガス試験が可能なガス腐食試験機です。試験槽床耐荷重 300kgf 仕様で、電気自動車用のインバータやモータなど大型で重量のある試料の試験ができます。

●型式末尾に「Z」が付く製品は、お客様の要求に基づき製作した特殊製作の事例です。別途仕様のお打ち合わせが必要です。

品名		複合サイクル試験機				
型式		CCT-1LM	CCT-2LM	DW-3	DW-4	
外観		 CCT-1LM		 DW-3		
試験項目	塩水噴霧試験(中性5%塩水)	○	○	—	—	
	キヤス試験(キヤス液)	—	—	—	—	
	乾燥試験	○	○	○	○	
	湿潤試験	○	○	○	○	
	浸漬試験	○	○	○	○	
	外気導入試験	○	○	—	—	
	低温試験	○	○	—	—	
	湿潤高温	○	○	—	—	
温湿度範囲	塩水噴霧試験	温度 35±1°C(中性塩水5%) 50±1°C	35±1°C(中性塩水5%) 50±1°C	—	—	
	乾燥試験	温度	20~70±1°C	20~70±1°C	(RT+10)~80±1°C	(RT+10)~80±1°C
		湿度	25±5%rh (槽内温度60°C時)	25±5%rh (槽内温度60°C時)	—	—
	湿潤試験	温度	50~70±1°C	50~70±1°C	40~50±1°C	40~50±1°C
		湿度	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	60~95±5%rh (槽内温度50°C時)	95%rh (安定時)	95%rh (安定時)
	浸漬試験	温度	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~60±1°C	(RT+10)~60±1°C
		浸水水位	約180mm (中性塩水5%)	約180mm (中性塩水5%)	約220mm (中性塩水5%)	約270mm (中性塩水5%)
	外気導入試験	温湿度制御無し		—	—	
低温試験	温度	-20~20±1°C (オプション:-40°C)	-20~20±1°C (オプション:-40°C)	—	—	
湿潤高温	温度	50±1°C	50±1°C	—	—	
	湿度	95%rh以上	95%rh以上	—	—	
試験片	枚数 (試験片寸法)	112枚 (150×70×1mm)	238枚 (150×70×1mm)	40枚 (100×50×5mm)	40枚 (150×70×5mm)	
	取付角度 (垂直に対して)	15°又は20°	15°又は20°	—	—	
試験槽寸法	幅×奥行×高さ	約85×80×103cm	約150×80×103cm	約54×63×50cm	約54×63×60cm	
試料枠	耐荷重 (回転数)	10kgf	20kgf	10kgf	18kgf	
電源容量	50Hz/60Hz 漏電遮断器(ELB)	3相200V約63A ELB:75A	3相200V約73A ELB:100A	3相200V約27A ELB:30A	3相200V約27A ELB:30A	
所要水量	本体関係	水道水	約0.6m ³ /day	約0.6m ³ /day	約1L/min	
	湿度発生機	純水	約4.5L/h	約4.5L/h	約30L/h	
	水冷冷凍機	クーリング タワー水※1	約24L/min	約24L/min	—	
本体寸法	幅×奥行×高さ(配管含む寸法)	約194×205×224cm (タッチパネル折りたたみ時)	約264×205×224cm (タッチパネル折りたたみ時)	約112×98×121cm	約112×98×145cm	
	運転質量	約1,300kg	約1,550kg	約320kg	約370kg	

●仕様は改善・改良のため予告なく変更することがあります。●本カタログに記載の性能は150×70×1mmの試験片を試料枠に全て取付けた時の数値で表しています。適切な試験片枚数や配置でなければ均一な試験結果が得られません。また、試験機の設置場所の条件は、JIS Z 8703(試験場所の標準状態)の温度23±5°C、湿度65±10%rhです。●CCT型の試験片枚数は左右隣り合う試験片同士の間隔を3mmにした場合の枚数です。●試験槽寸法は試験片を設置できる範囲を示すものではありません。
※1クーリングタワーが別途必要です(配管距離等により必要冷却能力とポンプ容量が異なります)。冷却水(クーリングタワー水など)が用意できない場合、屋外設置型空冷式冷凍機もあります(配管距離等により冷凍機の容量が異なります)。

品名		ガス腐食試験機	
型式		GT-100	
外観			
ガスの種類 (製作時ご指定)	SO ₂	二酸化硫黄	○
	H ₂ S	硫化水素	○
	NO ₂	二酸化窒素	○
	Cl ₂	塩素	○
ガス温度※2 手動調節範囲 (体積比)	SO ₂	二酸化硫黄	0.1~200ppm
	H ₂ S	硫化水素	0.01~200ppm
	NO ₂	二酸化窒素	0.1~20ppm
	Cl ₂	塩素	0.01~20ppm
ガス濃度 調節	手動調節		
温湿度範囲	温度条件	20~65±1℃	
	湿度条件	65~95±3%rh (槽内温度20℃時) 30~95±3%rh (槽内温度65℃時)	
試験片	枚数 (試験片寸法)	20枚 (150×70×1mm)	
	取付角度 (垂直に対して)	0°又は15°	
試験槽寸法	幅×奥行×高さ	約50×50×40cm	
電源容量	50Hz/60Hz 漏電遮断器(ELB)	3相200V 約20A ELB:30A	
所要水量	湿度発生機 純水	約0.8L/h	
本体寸法	幅×奥行×高さ(配管含む寸法)	約132×176×198cm	
	運転質量	約570kg	

※2 試験濃度に適合した標準ガスボンベ濃度を選択してください。ボンベ濃度は3%以下のものをご使用ください。

⚠ ガス腐食試験機の設置について

試験に用いるガスは人体に有害です。試験機を設置する際は、ガス漏れ警報器やガスボンベの収納、ガス本配管、非常停止時のガス供給遮断安全装置など、安全面・周囲環境に十分注意し、必ず仕様書・図面・設置要領書・設置確認書に従い、正しく設置ください。

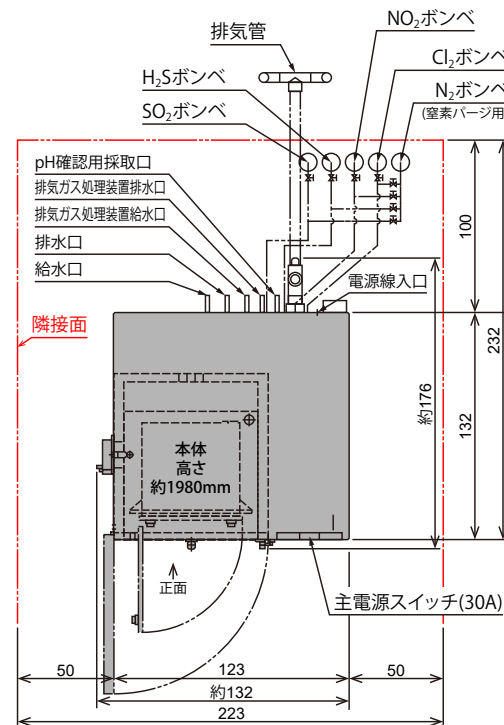
⚠ ガス腐食試験機の使用上の注意事項

取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- ・試験槽内には揮発性及び可燃性のもの、爆発物・危険物等はいれないでください。
- ・試験終了後は、必ずガス濃度が0.1 ppm以下になっている事を確認してから試験槽扉を開けてください。
- ・排気は、排気ガス検知口よりガス濃度を測定して処理能力を確認してください。
- ・試験終了毎およびボンベ交換時、または試験機を5日間以上停止する場合はボンベの元栓を確実に閉め、必ず窒素(N₂)パージを行ってください。
- ・ボンベ交換後は必ず接続部のガス漏れチェックを行ってください。

設置例

(ガス腐食試験機 GT-100 型、平面図、単位:cm)



ガス腐食試験機用オプション

- ・ガス漏れ警報器
- ・バルブシャッター(非常停止時ガス供給遮断装置)
- ・ボンベストッカ
- ・TM 式水フィルタ(SW-5G)

本カタログに記載の仕様は改善・改良のため予告なく変更する場合があります。本体の付属品・オプション品については、最新の仕様書をご確認ください。
本カタログに記載の試験規格はカタログ制作当時のものです。また、試験規格内の全ての試験条件に対応することを示すものではありません。試験規格は定期的に見直し・改正されますので、最新の規格内容をご確認ください。



スガ試験機株式会社 Suga Test Instruments Co.,Ltd.

www.suga-global.com
www.sugatest.co.jp

本社	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 5-4-14	tel 03-3354-5241	fax 03-3354-5275
光研究所	〒 160-0022	東京都 新宿区 新宿 6-10-2	tel 03-6867-0810	fax 03-6867-0811
日高・川越工場	〒 350-1213	埼玉県 日高市 高萩 1973-1	tel 042-985-1661	fax 042-989-6626
名古屋支店	〒 465-0051	名古屋市 名東区 社が丘 1-605	tel 052-701-8375	fax 052-701-8513
大阪支店	〒 564-0053	大阪府 吹田市 江の木町 3-23	tel 06-6386-2691	fax 06-6386-5156
広島支店	〒 733-0033	広島市 西区 観音本町 2-12-11	tel 082-296-1501	fax 082-296-1503